

作成日 2021/12/16

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	Accellix T Cell RTF Assay (L) Accellix T Cell RTF Assay (NL) Accellix T Cell N-1 AF488 RTF Test Kit (L) Accellix T Cell N-1 AF488 RTF Test Kit (NL) Accellix T Cell N-1 PE RTF Test Kit (L) Accellix T Cell N-1 PE RTF Test Kit (NL) Accellix T Cell N-2 AF488 PE RTF Test Kit (L) Accellix T Cell N-2 AF488 PE RTF Test Kit (NL) Accellix TBNK RTF Assay (L) Accellix TBNK RTF Assay (NL) Accellix TBNK-16 RTF Assay (L) Accellix TBNK-16 RTF Assay (NL) Accellix Stem Cell RTF Assay (L) Accellix Stem Cell RTF Assay (NL) Accellix Stem Cell-3 RTF Assay (L) Accellix Stem Cell-3 RTF Assay (NL) Accellix QC cartridge
製品コード	A1000-1L A1000-1NL A1001-1L A1001-1NL A1001-2L A1001-2NL A1001-3L A1001-3NL A1002-4L A1002-4NL A1003-1L A1003-1NL A1004-1L A1004-1NL A1005-1L A1005-1NL Q1001-1L
供給者の会社名称	ビオメリュー・ジャパン株式会社
住所	東京都港区赤坂二丁目17番7号
電話番号	03-6834-2666
推奨用途	試薬

2. 危険有害性の要約 化学品のGHS分類

健康有害性	急性毒性(吸入・蒸気) 区分4 皮膚感作性 区分1 生殖細胞変異原性 区分2 発がん性 区分1A 上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しない か分類できない。
-------	--

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語
危険有害性情報

危険
H332 吸入すると有害
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H350 発がんのおそれ
H341 遺伝性疾患のおそれの疑い

注意書き
安全対策

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202)

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)

蒸気の吸入を避けること。(P261)

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。(P272)

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。(P308+P313)

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)

気分が悪いときは医師に連絡すること。(P312)

皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。(P302+P352)

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。(P333+P313)

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。(P363)

廃棄

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
ホルムアルデヒド	0.28%	HCHO	(2)-482	既存	50-00-0
物質(その他)	99.72%	不明	不明	不明	不明

4. 応急措置

吸入した場合

吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

呼吸が困難な場合、酸素が必要となる場合がある。被災者が吸入した場合、口移しでの人工呼吸は行わないこと。

気分が悪い時は、医師／中毒110番に連絡すること。呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。汚染された衣類を脱ぐこと。

皮膚に付着した場合

		皮膚又は髪に付着した場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ又は取り除くこと。皮膚を流水又はシャワーで10分以上洗うこと。 ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当て、診断を受けること。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。 直ちに多量の流水で10分以上眼を洗浄すること。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 直ちに医師に連絡すること。 口をすすぐこと。 無理に吐かせうこと。 中毒110番の助言なしに無理に吐かせないこと。 嘔吐が起きた場合には、胃からの嘔吐物が肺に入らないよう頭部を下げるのこと。 被災者に意識の無い場合は、口から何も与えてはならない。
5.	火災時の措置 適切な消火剤 使ってはならない消火剤 火災時の特有の危険有害性	周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。 棒状水。 加熱により容器が爆発するおそれがある。 燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。 火災の場合には区域より退避させること。 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用する。
6.	漏出時の措置 人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	多量の場合、人を安全な場所に退避させる。 ミスト／蒸気の吸入を避けること。 必要に応じた換気を確保する。 作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスクなど)を着用する。 漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。 少量の場合、吸着剤(土・砂・ウエスなど)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾などでよく拭き取る。大量の水で洗い流す。 多量の場合、可能な場合は漏出物をせき止める。吸着剤(土・砂・ウエスなど)で吸着させ容器に回収する。取り除いた後、残りをウエス、雑巾などでよく拭き取る。大量の水で洗い流す。 漏出物の上をむやみに歩かない。
7.	二次災害の防止策	
7.	取扱い及び保管上の注意 取扱い	技術的対策 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 十分に換気すること。 長時間のばく露を避けること。 眼、皮膚、衣類に付けないこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
	安全取扱注意事項	

保管	接触回避	ミスト／蒸気の吸入を避けること。 呼吸用保護具を着用すること。 取扱い後はよく手を洗うこと。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 『10. 安定性及び反応性』を参照。
	安全な保管条件	『10. 安定性及び反応性』を参照。 国又は都道府県の規則に従って保管すること。 直射日光の当たらない乾燥した涼しいところに保管すること。 換気の良い場所で保管すること。 他の物質から離して保管すること。
	安全な容器包装材料	元の容器に密閉して保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
ホルムアルデヒド	0.1ppm	0.1ppm(0.12mg/m ³) 【最大許容濃度】 0.2ppm(0.24mg/m ³)	TWA 0.1 ppm, STEL 0.3 ppm

設備対策	蒸気、ヒューム、ミストまたは粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。
保護具	呼吸用保護具 手の保護具 眼、顔面の保護具 皮膚及び身体の保護具
	適切な呼吸器用保護具を着用すること。 保護手袋を着用すること。 保護眼鏡、保護面を着用すること。 保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
形状	データなし
色	無色
臭い	データなし
融点／凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	下限 データなし 上限 データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	7.2
動粘性率	データなし
溶解度	データなし
n-オクタノール／水分配係数	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性 本製品は、通常の使用、保管および輸送条件下では安定かつ非反応性である。

化学的安定性 危険有害反応可能性	通常の条件下では安定である。 一般的な使用条件下では、危険な反応は知られていない。
避けるべき条件 混触危険物質 危険有害な分解生成物	情報なし 情報なし 危険有害な分解生成物は知られていない。
11. 有害性情報	
急性毒性(経口)	ホルムアルデヒド
急性毒性(経皮)	ホルムアルデヒド
急性毒性(吸入)	ホルムアルデヒド
皮膚腐食性／皮膚刺激性	ラット LD50値 : 100 mg/kg ウサギ LD50値 : 270 mg/kg 吸入すると有害
眼に対する重篤な損傷性 ／眼刺激性	ラット LC50値 : 578 mg/m ³ ,4時間 データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。
皮膚感作性	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
生殖細胞変異原性	遺伝性疾患のおそれの疑い
発がん性	発がんのおそれ
生殖毒性	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(単回 ばく露)	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(反復 ばく露)	データ不足のため分類できない。
誤えん有害性	動粘性率が不明のため、分類できないとした。
12. 環境影響情報	
水生環境有害性 短期(急 性)	データなし
水生環境有害性 長期(慢 性)	データなし
生態毒性	データなし
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データ不足のため分類できない。
13. 廃棄上の注意	
残余廃棄物	内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門 の廃棄物処理業者に委託すること。 製品を上下水路や地面に漏出させてはならない。 製品の残余物が残っている可能性があるので、容器 が空になった後もラベルの警告に従うこと。 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに 地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
汚染容器及び包装	
14. 輸送上の注意	
国際規制	海上規制情報
	IMOの規定に従う。
	UN No.
	3082
	Proper Shipping Class
	9
	Packing Group
	III
	Marine Pollutant
	applicable

	Liquid Substance Transported in Bulk According to MARPOL 73/78, Annex II, the IBC Code	Not applicable
国内規制	航空規制情報	ICAO／IATAの規定に従う。
	UN No.	3082
	Proper Shipping Class	環境有害物質(液体) 9
	Packing Group	III
	陸上規制	非該当
	海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
	国連番号	3082
	品名	環境有害物質(液体)
	クラス	9
	容器等級	III
	海洋汚染物質	該当
	MARPOL 73/78 附属 書II 及びIBC コードに よるばら積み輸送さ れる液体物質	非該当
	航空規制情報	航空法の規定に従う。
	国連番号	3082
	品名	環境有害物質(液体)
	クラス	9
	等級	III
緊急時応急措置指針番号		171

15. 適用法令

労働安全衛生法

毒物及び劇物取締法
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

化審法
水質汚濁防止法
大気汚染防止法

海洋汚染防止法
外国為替及び外国貿易法
船舶安全法
航空法

作業環境評価基準(法第65条の2第1項)
名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条
第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)
名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条
の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)

ホルムアルデヒド(政令番号:548)
非該当
第1種指定化学物質、特定第1種指定化学物質(法
第2条第2項、施行令第1条別表第1、施行令第4条)

ホルムアルデヒド(政令番号:411)
優先評価化学物質(法第2条第5項)
指定物質(法第2条第4項、施行令第3条の3)
特定物質(法第17条第1項、政令第10条)
有害大気汚染物質、優先取組物質(中央環境審議会
第9次答申)

自主管理指針対象物質(環境庁通知)
揮発性有機化合物(法第2条第4項)(環境省から都
道府県への通達)
有害液体物質(Y類物質)(施行令別表第1)
輸出貿易管理令別表第1の16の項
有害性物質(危規則第3条危険物告示別表第1)
その他の有害物質(施行規則第194条危険物告示
別表第1)

水道法

有害物質(法第4条第2項)、水質基準(平15省令10
1号)

労働基準法

疾病化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条
別表第1の2第4号1)

16. その他の情報

連絡先

【産業製品 問い合わせ先】0120-022-328

参考文献

NITE-CHRIPI(独立行政法人 製品評価技術基盤機構
化学物質総合情報提供システム)

JIS Z 7253 :2019 GHSに基づく化学品の危険有害性
情報の伝達方法-ラベル、作業場内の表示及び安全
データシート(SDS)

Accellix, Inc. 製品SDS(SDS-ACX-001 REV.A)

ezSDS

その他

記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に
基づいて作成しておりますが、現時点における化学又
は技術に関する全ての情報が検討されているわけで
はありませんので、いかなる保証をなすものではありません。
また、注意事項は、通常の取り扱いを対象と
したものです。特殊な取り扱いの場合には、この点の
ご配慮をお願いします。

【改訂履歴】

住所変更(2025.12)